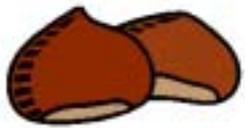


子ども音楽新聞

第5刊

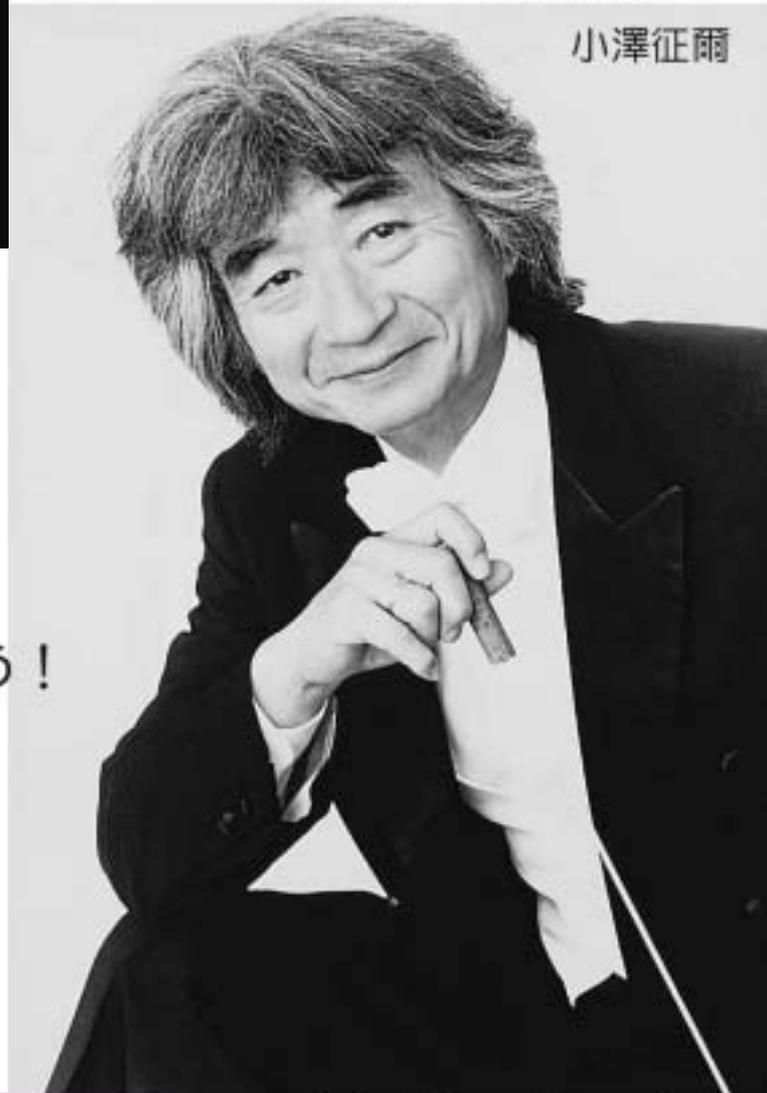
2005.8月

小澤征爾



食欲の秋、読書の秋、
そして「芸術の秋」！！
今年の秋は、
世界で大活躍している演奏家と
楽しいひとときを一緒に過ごそう！

- 小澤征爾さんのDream Seats公演情報満載！
- ベルギーの子どもたちも音楽大好き！！
子どもたちがモネ劇場で取り組む教育プログラムの
様子も大公開！！



大野和士

(c) Johan Jacobs

(c) Shintaro Shiratori



10月は
すっごいイベントが
たくさんあるよ！！

子どもたちに贈るオペラ “ドン・ジョヴァンニ”

(イタリア語で上演するよ！)

モネ劇場 (ベルギー王国 ブリュッセルにて) 取材レポート！

今年の秋、Sony Music Foundationでは、いよいよ子どもたちに贈るオペラ公演を開催いたします。「オペラは難しそうで…」
「オペラのチケットはものすごく高いでしょ？」…いやいや、そんなことはございません。今年のオペラは、何と、一般公演の
チケット価格の10分の1に料金設定を行い、指揮者・大野和士さんによるわかりやすいストーリーや出演キャラクターの説明
を行いながら、予習しなくても十分楽しめる内容です。出演歌手も、ヨーロッパで活躍する人たち。オーケストラ演奏はもちろん、
大野和士率いるベルギー王立歌劇場！最初のオペラ体験は是非、「ドン・ジョヴァンニ」でリアルな感動を体感して下さい！！



さぁ先生を
よ〜くみて！



神様！
おねがい！
おなか減ったぁ。



詳しくは同封
のチラシを
みてね！



カメラ目線に
なっちゃうよ…



怒った顔は
こんな顔！

モネ劇場・取材レポート(2005.6/18-21)

6月、モネ劇場で取材してきたのは、「親子のためのワークショップ」と、子どもたちのための「魔笛」公演。

ベルギーではそこに暮らす人たちはオランダ語、フランス語、ドイツ語、英語など、たくさんの言葉を話すため、この日は、普段オランダ語を話す親子に向けてのワークショップ。(翌週にはフランス語を話す人たちが対象とした、同じ内容のものをやったそうです！さすがヨーロッパの中心になっている国だね！！)

ベルギーで暮らす大野さんも、フランス語、オランダ語、ドイツ語など、いろいろな国の言葉を覚えて、歌手やオーケストラの演奏者、スタッフと会話していました。

ワークショップでは、体中で音楽を感じて、嬉しい、哀しい、怒った！などを表現。子どもたちみんな楽しそう。歌うことも、演技することも大好きなんだって！！



大野和士です。僕が初めてオペラをみたのは、10歳のとき。劇場に行くこと、オペラのチケットを持っていること、歌手やオーケストラの演奏、全てがドキドキ・ワクワクする体験でした。今回のドン・ジョヴァンニは僕がお話をしながら進行します。どうぞ、お楽しみに！

小澤征爾さん、N響と一緒に楽しむ Dream Seats メンバーズ対象公演！！

モネ劇場のオペラもとっても魅力的！
こっちも負けないくらい、素晴らしい演奏会だ！
小澤征爾さんとNHK交響楽団の演奏会が
待ちどおしいね！早く10月こないかなあ…。
その前に、演奏される作曲家のこと、曲のこ
をみんなでおさらいしてみよう！！



ベートーヴェン

ベートーヴェンは、ドイツのボンという町に生まれました。難聴になったにもかかわらず、彼の知的な発想と才能で曲をかきつづけた素晴らしい音楽家なのです。

ベートーヴェンは、音楽史上忘れてはいけない大切な人。ベートーヴェンの曲や作曲の方法などは、有名な作曲家たちに、とても大きな影響を与えた人なのです。

交響曲第5番『運命』

ダダダダ～

みなさんも一度は聴いたことがあるかもしれませんね。ちょうどこの『運命』をかきはじめてころから、耳が聴こえなくなってきていたベートーヴェン。「苦しみをつうじてのよろこび」という言葉がそのままこの交響曲になったそうです。有名なダダダダ～というメロディではじまる暗く不安そうな第1楽章が、第4楽章ではまるで天の光がさしてくるかのようによくなります。“ダダダダ～！”今、運命のとびらがたたかれる！！

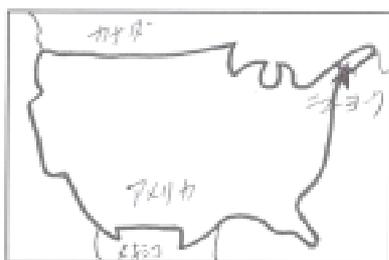


ガーシュウィン

アメリカ、“ビッグ・アップル”として知られている、大都会ニューヨーク生まれの作曲家、ガーシュウィンは、はじめ、ジャズの音楽をかいていた作曲家。オーケストラのことはほとんど分からなかったのに、自分の思いついたメロディをかきあげた、この「ラブソディ・イン・ブルー」でアメリカの音楽界にみとめられ、とって重要な存在となったのです。実は素晴らしい才能の持ち主だったんだね！

ラブソディ・イン・ブルー

この曲でガーシュウィンは有名になった！ともいえるこのラブソディ・イン・ブルーは、カッコいいクラリネットのソロではじまります。クラシック音楽というより、まるでジャズを聴いているかのよう。リズムやテンポがまるでストーリーのようにつなぎ合わされています。ワクワクドキドキ、今にも踊りだせそうなリズムカルな曲です。



どんな演奏会になるか楽しみだね！演奏会の前にぜひ一度『運命』と『ラブソディ・イン・ブルー』をCDで聴いてみよう！

このコンサートの Dream Seats のお申込みは終了しております。チケットに関するお問い合わせ、詳しいコンサート情報はNHKプロモーション(03-3468-7736)へ直接お問い合わせ下さい。

おんがくしんぶんむりょうこうどくきぼう
子ども音楽新聞無料購読希望!

子ども音楽新聞の無料またはバックナンバーを希望される方は、
Sony Music Foundation まで、EメールまたはFAXで。
または、ホームページからお申し込みができます!
どんどんお申し込み下さい!

小学校に入っていないおともだちには、こんなコンサートもあるよ!!

Concert for KIDS

0才からのクラシック



9/25 (日) 埼玉	プラザウエスト (11:00開演 0-5才)	【完売しました】
10/9 (日) 北海道	たかすメロディーホール (11:00開演 0-5才)	【8/中旬発売】
10/22 (土) 千葉	アミュゼ柏 (11:00開演 0-5才)	【7/19発売】
10/30 (日) 栃木	栃木県総合文化センター (13:00開演 0-2才 / 15:00開演 3-5才)	【6/23発売】
11/20 (日) 東京	豊洲文化センター (11:00開演 0-2才 / 14:00開演 3-5才)	【9/5発売】

協賛：ソニー生命保険株式会社 2005年度助成：(社)私的録音補償金管理協会 (sarah)
上記公演に関するお問い合わせ：Sony Music Foundation 03-3261-9933



妊婦さんとおなかの赤ちゃんを対象にした人気シリーズ
「0才まえのコンサート～ママのおなかは特等席～」

今回は、チェロとピアノのやさしいメロディーとおはなしでお贈りします。

9/25 (日) 埼玉 プラザウエスト
10/9 (日) 福島 福島市音楽堂
11/5 (土) 東京 HAKUJU HALL

出演：古川 展生 (チェロ) / 安宅 薫 (ピアノ)

発行：財団法人ソニー音楽芸術振興会 (Sony Music Foundation)

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル7F

TEL:03-3261-9933 FAX:03-3261-9898 Email: smf@sonymusic.co.jp

URL: <http://www.smf.or.jp>

発行人：齋藤成人 (SMF)

編集：岩田美紀 / 松岡久美子 (SMF) 絵：松岡久美子